

エクステリアVR作成方法

エクステリアVRでは、簡単に視点が動くパースを作成する事ができます。

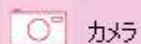


1 エクステリアVRとは

エクステリアVRとは…
マウスドラッグでパースをクルクルと回して見ることができるパースを作成する機能です。

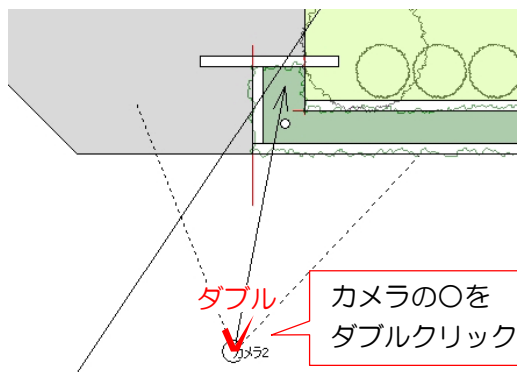
作成したVRはパソコンやタブレットなどのブラウザで見る事ができ、特殊なソフトを使用しなくても閲覧することができます。

メールでお施主様にご案内を出して、見ていただくことも可能です。



カメラ

レイヤは「カメラ」



2 VRレンダリング作業手順



矢印の先とカメラの位置を基準にしてVRを作成します。eE-Painterでカメラの角度を、平面図で矢印の位置を調整しておきましょう。

2-1 カメラレイヤで、VRを作成したい視点のカメラのOをダブルクリックします。

カメラの設定画面が開きます。

2-2 右下の「エクステリアVR」をクリックします。






VRレンダリングの設定画面が開きます。
2-3 画面中央で作成するタイプを選択します。
※タイプによって作成時間が異なります。

●が自分が立つ位置です。
円弧が動画の軌道です。

【スタンドインVR】

カメラの位置から360°を見回します。VRゴーグルを使用できます

 スタンドインVR作成方法 P318~参照

【3D視点移動】
(周囲を回る・見下ろす・近づく)

矢印の先を中心に周囲を回り、上・前に動かさせます

【周囲を回る】

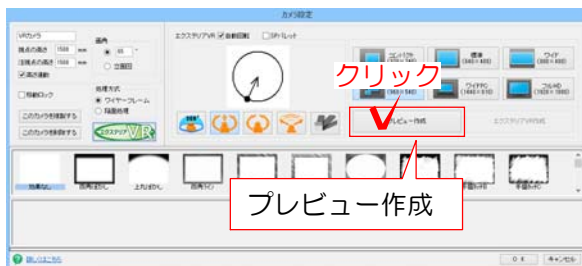
矢印の先を中心に周囲を回ります

【見回す】

周囲を見回します

【影が動く】

影シミュレーションができます




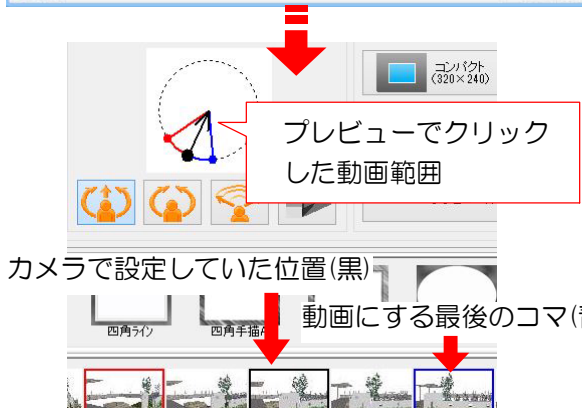
2-4 右下の「プレビュー作成」をクリックします。



画面下にプレビューが表示され、円弧に色がつきます。

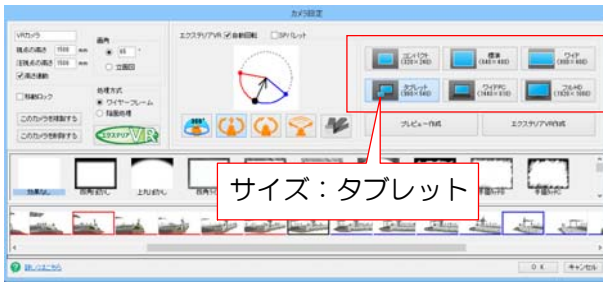
※「プレビュー作成」を押した後、2-3でタイプを選択しなおした場合は、再度「プレビュー作成」を押します。

 カメラの矢印またはカメラの位置が基準になります。プレビューで白紙の部分ができた時は、カメラの矢印の位置を調整しなおしてから作業をしましょう。



2-5 プレビューの画像をクリックして、動画の範囲を決めます。

※スタンドインVRと影が動くタイプには範囲指定はありません。



2-6 画面右上のサイズを選択します。

💡 VRを閲覧する端末によってサイズを変更します。

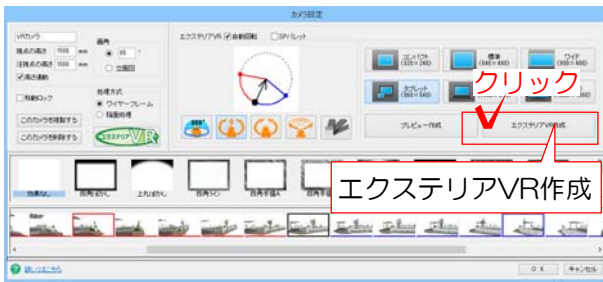
【タブレット】

→スマートフォン、ipad、タブレット用

【ワイドPC、フルHD】

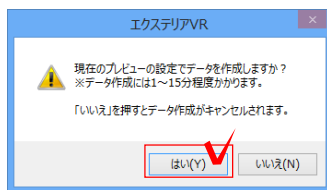
→PC、テレビモニタ用

サイズが大きくなると作成時間が長くなります。

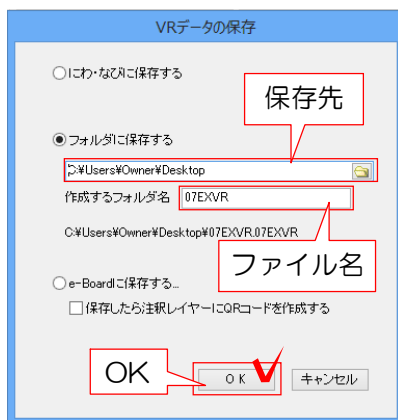


2-7 画面右の「エクステリアVR作成」をクリックします。

確認画面が表示されます。



2-8 「はい」をクリックします。

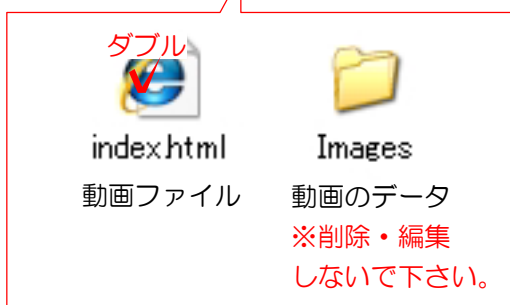


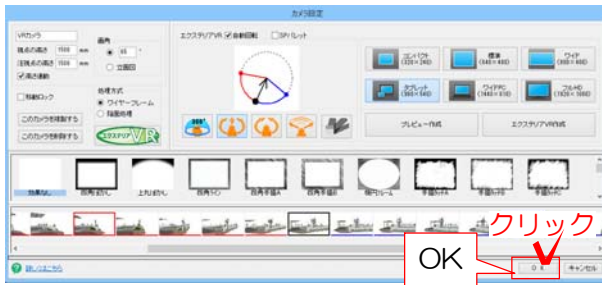
2-9 保存先とファイル名を入力して「OK」をクリックします。

通常は「フォルダに保存する」を選択しましょう。

「にわ・なびに保存」または「e-Boardに保存」を選ぶこともできます。

指定した保存先にフォルダができます。





作成が終わったら、カメラの設定画面を閉じます。

2-10 画面右下の「OK」をクリックして、カメラ設定画面を閉じます。

画角：eE-Painterの静止画レンダリング用設定です。平面図に点線で表示されている見える範囲の角度です。
立面図を作成したいときは「立面図」を選択します。

カメラの名称

視点の高さ：人の目線の高さ
注視点の高さ：見る先の高さ
高さ連動：視点の高さと注視点の高さを同じにします。

カメラ設定画面



移動ロック：カメラの位置が固定され、ドラッグで移動出来なくなります。

マニュアルボタン：VRのマニュアルを閲覧できます。

3 VRレンダリング画面説明

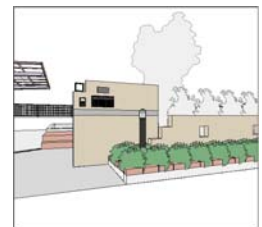
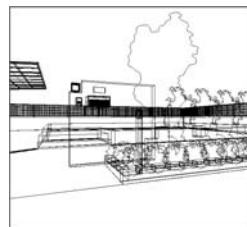
3-1 カメラレイヤで、VRを作成したい視点のカメラのOをダブルクリックすると、カメラ設定画面が表示されます。

カメラの設定画面が開きます。

処理方式：平面図画面右のパース表示画面での表示方式です。

ワイヤーフレーム
 図形を線で表示します。
 全て透過した状態。

陰面処理
 色付きで表示。前後関係が分かりやすい状態。



エクステリアVR：エクステリアVR用の設定です。クリックすると別画面が開きます。

→3-2へ

360° VR写真合成：360° カメラで撮影した全天球写真にCADパースを合成できます。



テキスト 360° VR写真合成 P327~参照

このカメラを複製する：現在選んでいるカメラを複製することが出来ます。

このカメラを削除する：現在選んでいるカメラを削除することが出来ます。

影シミュレーションVR設定画面



VRデータの作成と以下の設定を選択することが出来ます

所在地：都道府県が選択出来ます。
設定日：春分・夏至・秋分・冬至・指定(日付指定)が選択出来ます。
カメラ：現在のカメラ・平面図が選択出来ます
表示：完成したVRに所在地・設定日・時刻、またその情報をVRの画面のどこに表示させるかを選択出来ます。

3-2 カメラ設定画面右下の「エクステリアVR」をクリックすると開きます。VRに関する設定画面と作成ボタンです。

エクステリアVR自動回転：チェックを入れると自動的にVRを回すことが出来ます。

エクステリアVR：タイプを選択します。「360°」「周囲を回る」「見回す」「影が動く」があります。3D視点移動のタイプは「周囲を回る」に加えて「見下ろす・近づく」が出来ます。平面図に表示されている矢印とカメラ位置が基準になります。

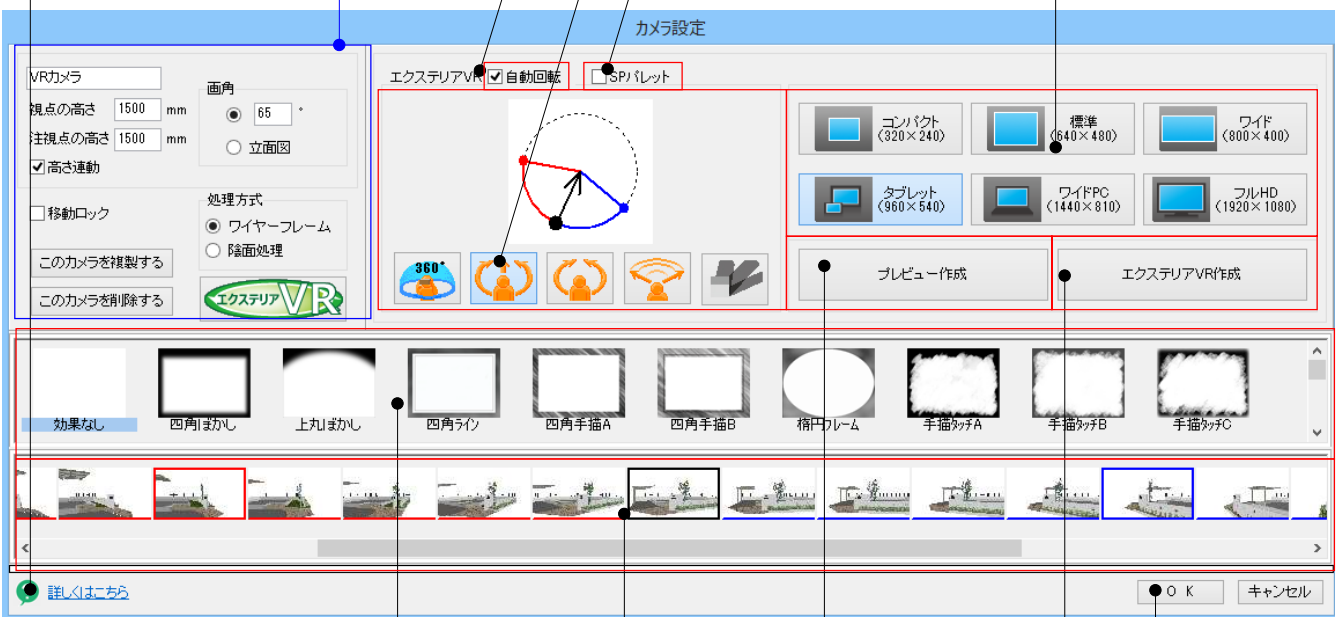
SPパレット：SPパレット設定画面が開き手書き風のVRが作成できます。

サイズ：作成するVRのサイズです。※サイズによってデータ量が変わります。通常は標準を選択しましょう。

カメラ設定画面：3-1参照

VRレンダリング設定画面

マニュアルボタン



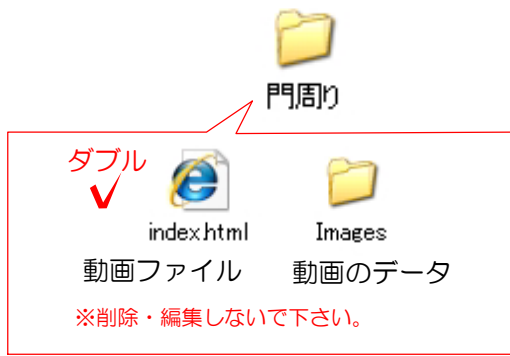
ぼかしフレーム：ぼかしフレームを選択することが出来ます。※ぼかしフレームをクリックで選択したら「プレビュー作成」のボタンをクリックしましょう。

プレビュー作成：VRのタイプを選択後、クリックしてプレビューを作成します。

OK・キャンセル：VR設定画面を終了します。

プレビュー：プレビュー作成で表示されます。黒枠がカメラの初期視点。右周りと左周りがそれぞれ赤と青で表示されます。クリックすることで、VRの作成範囲を決定します。

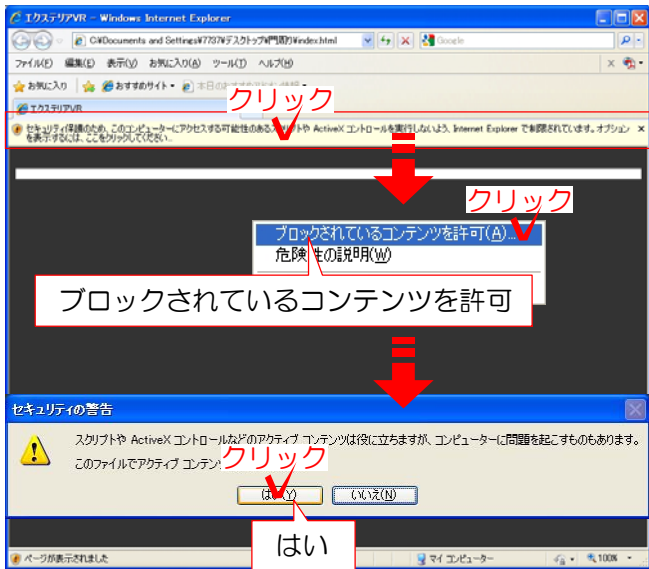
エクステリアVR作成：VRを作成します。



4 VR閲覧方法

指定した保存先にフォルダができます。

4-1 作成されたフォルダ内の「index」をダブルクリックするとVRが表示されます。

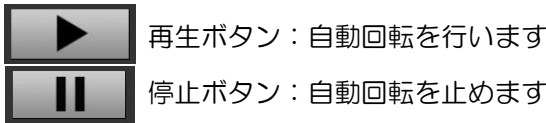


画面にVRが表示されず、警告メッセージなどが表示された場合は、クリックして許可してください。
左図は一例です。



4-2 ▶ を選択すると自動的に回転します。|| を選択すると停止します。

※ ▶ を選択せずに画面を左右にドラッグするとマウスで回す事ができます。



作成する時に自動回転にチェックを入れておかないと自動的に回転されません

※3D視点移動タイプで作成すると左右だけではなく、上下・前後にもドラッグで動かすことができます。



上にドラッグで「見上げる」
下にドラッグで「視点を戻す」



マウスホイールを上へ転がすと前に移動、
下へ転がすと後へ戻ります

詳しい説明はWEBマニュアルを参照してください。

参考 [VRの作成方法]を検索